



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社ネクソン 上場取引所 東
 コード番号 3659 URL <https://www.nexon.co.jp/ir/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）李 政憲
 問合せ先責任者 （役職名）代表取締役最高財務責任者 （氏名）植村 士朗 （TEL）03-6629-5318
 半期報告書提出予定日 2026年8月14日 配当支払開始予定日 2026年9月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家、アナリスト及びメディア向けオンライン決算説明会）
 （百万円未満四捨五入）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	273,310	17.4	89,447	12.8	115,798	71.4	86,306	104.5	86,864	101.9	63,608	△26.6
2025年12月期中間期	232,784	0.8	79,309	6.6	67,545	△41.6	42,206	△44.0	43,030	△43.2	86,687	△42.2

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	109.96	109.67
2025年12月期中間期	53.04	52.93

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	1,356,395	1,085,468	1,076,812	79.4
2025年12月期	1,410,188	1,065,918	1,057,544	75.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	15.00	—	30.00	45.00
2026年12月期	—	30.00			
2026年12月期（予想）			415.00	30.00	475.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2026年12月期（予想） 第3四半期配当金の内訳 特別配当 415.00円

当期の配当予想の詳細につきましては、本日公表の「2026年12月期配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年12月期第3四半期（累計）の連結業績予想（2026年1月1日～2026年9月30日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第3四半期（累計）	394,042	12.1	112,052	△4.1	141,483	16.0	103,728	29.8	105,088	29.4
	406,746	15.7	121,716	4.2	151,148	23.9	111,145	39.1	112,505	38.6
										143.00

（注） 2026年12月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第3四半期（累計）の業績予想のみを開示しております。また、特定の数値による予想が困難であるためレンジ形式での開示を行っております。詳細は、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) Alignment Growth Fund II, LP

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.16「2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期中間期	793,516,908株	2025年12月期	827,160,972株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	9,173,910株	2025年12月期	35,753,527株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年12月期中間期	789,994,368株	2025年12月期中間期	811,305,202株

(注) 期末自己株式数には、当社の連結子会社であるStiftelsen Embark Incentive及びNEXON Employee Benefit Trustが保有する当社株式が含まれております(2026年12月期中間期1,216,510株、2025年12月期1,500,327株)。また、当該連結子会社が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております(2026年12月期中間期1,338,146株、2025年12月期中間期2,259,052株)。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約中間連結財政状態計算書	7
(2) 要約中間連結損益計算書	9
(3) 要約中間連結包括利益計算書	11
(4) 要約中間連結持分変動計算書	13
(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	14
(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	16
(継続企業の前提に関する注記)	16
(会計方針の変更)	16
(セグメント情報の注記)	16
(重要な後発事象)	23

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いております。ただし、中東情勢を始め世界経済の不透明感が続いております。

先行きについては、基本的には緩やかな持ち直しが続くことが期待されますが、中東情勢や金融資本市場の変動による影響等に留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループは、ライブ運用を基盤とし、IP成長戦略に沿った経営改革を行っております。これにより主要IPを著しく成長させるとともに、新たな大ヒット作の開発を進めてまいります。また、プロダクトポートフォリオの見直しにより、構造的な収益力の向上も目指してまいります。2024年に策定したIP成長戦略は、垂直及び水平方向の成長で構成される戦略です。垂直方向の成長とは、『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)や『メイプルストーリー』(MapleStory)などの大ヒットフランチャイズを新しいコンテンツ、プラットフォーム、地域を通じて提供し、再活性化及び拡張することで成長させる戦略です。この戦略の重要な要素として、市場間の文化的違いを認識し、各地域のプレイヤーの好みに合わせてコンテンツをカスタマイズするハイパー・ローカライゼーションが含まれます。また、水平方向の成長とは、『マビノギ』(Mabinogi)や『ARC Raiders』など、当社グループのその他のゲームフランチャイズ及び開発中の新作から新たな大ヒット作を創出することを目的とした戦略です。

当中間連結会計期間においては、主に前年10月にグローバルでリリースした『ARC Raiders』の寄与及びメイプルストーリーフランチャイズの新作に牽引された大幅な成長により、売上収益は前年同期比で増加しました。

主要フランチャイズ別の売上収益は、以下のとおりです。

アラド戦記フランチャイズにおいては、フランチャイズ全体の売上収益は前年同期比で減少いたしました。『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)は、5月のアニバーサリーアップデートと新たな課金施策が貢献したものの、前年同期比で売上収益が減少いたしました。中国のPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)は、4月の新シーズンアップデートの立ち上がりが低調だったことにより、前年同期比で売上収益が減少いたしました。韓国においても、比較対象となる前年同期の実績が高水準であったこと及び3月の新シーズンアップデートへの反響が限定的であったことにより、前年同期比で売上収益が減少いたしました。

メイプルストーリーフランチャイズにおいては、前年11月に配信を開始した『MapleStory: Idle RPG』の寄与及び『MapleStory Worlds』の成長により、フランチャイズ全体の売上収益は前年同期比で増加いたしました。また、当第2四半期連結会計期間におけるフランチャイズ売上収益は、四半期として過去最高となりました。

『MapleStory Worlds』は、4月にローンチしたユーザー制作による2つの新規ワールドが寄与し、売上収益は前年同期比で大幅に増加いたしました。『MapleStory: Idle RPG』は、4月のハーフアニバーサリーアップデートが奏功し、フランチャイズ全体の業績に貢献いたしました。

FCフランチャイズにおいては、主に『EA SPORTS FC™ ONLINE』において、ワールドカップによる集客効果及びユーザー獲得施策の成果が得られなかったこと等により、フランチャイズの合計売上収益は前年同期比で減少いたしました。

その他の主要タイトルでは、前年10月にグローバルでリリースした『ARC Raiders』が引き続き業績に大きく貢献いたしました。当第2四半期連結会計期間には約80万本を追加販売し、累計販売本数は1,630万本を突破しております。また、前年3月に韓国で配信を開始した『マビノギモバイル』(MABINOGI MOBILE)の売上収益が、高水準であった前年同期との比較により前年同期比で減少いたしました。

費用面では、従業員数の増加に伴う人件費の増加に加え、ソフトウェアサービス費用、クラウドサービス費用及び『MapleStory Worlds』のクリエイター報酬の増加により、売上原価は前年同期比で増加いたしました。販売費及び一般管理費は、人件費に含まれる株式報酬費用が減少した一方で、主に『MapleStory: Idle RPG』の成果報酬型マーケティングに係る広告宣伝費の増加や、『MapleStory: Idle RPG』及び『ARC Raiders』に係るプラットフォーム利用料の増加により、前年同期比で増加いたしました。また、前年同期においては為替差損が発生しておりましたが、当中間連結会計期間では為替差益を認識した結果、税引前中間利益及び親会社の所有者に帰属する中間利益は前年同期比で増加いたしました。

上記の結果、当中間連結会計期間の売上収益は273,310百万円(前年同期比17.4%増)、営業利益は89,447百万円(同12.8%増)、税引前中間利益は115,798百万円(同71.4%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は86,864百万円(同101.9%増)となっております。

報告セグメントの当中間連結会計期間の業績は、次のとおりです。

従来「その他」に含まれておりました「欧州」については、重要性が増したことから、当中間連結会計期間より報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分方法に基づき組み替えて表示しております。

① 日本

当中間連結会計期間の売上収益は2,324百万円(前年同期比13.3%減)、セグメント損失は1,738百万円(前年同期は1,844百万円の損失)となりました。

② 韓国

当中間連結会計期間の売上収益は186,564百万円(前年同期比12.0%減)、セグメント利益は57,346百万円(同31.5%減)となりました。韓国セグメントの売上収益には、子会社であるNEXON Korea Corporationの傘下にあるNEOPLE INC. の中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。

③ 中国

当中間連結会計期間の売上収益は1,070百万円(前年同期比31.4%増)、セグメント利益は183百万円(前年同期は112百万円の損失)となりました。

④ 北米

当中間連結会計期間の売上収益は22,370百万円(前年同期比58.9%増)、セグメント利益は5,060百万円(同342.0%増)となりました。

⑤ 欧州

当中間連結会計期間の売上収益は60,535百万円(前年同期比2,033.3%増)、セグメント利益は31,069百万円(前年同期は3,537百万円の損失)となりました。

⑥ その他

当中間連結会計期間の売上収益は447百万円(前年同期比54.6%増)、セグメント損失は601百万円(前年同期は1,419百万円の損失)となりました。

(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は1,356,395百万円であり、前連結会計年度末に比べて53,793百万円減少しております。主な減少要因は、その他の預金の減少(前期末比46,368百万円減)及びその他の金融資産の減少(同39,182百万円減)によるものであり、主な増加要因は、現金及び現金同等物の増加(同47,234百万円増)によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は270,927百万円であり、前連結会計年度末に比べて73,343百万円減少しております。主な減少要因は、繰延税金負債の減少(前期末比22,324百万円減)、その他の流動負債の減少(同19,346百万円減)、繰延収益の減少(同14,429百万円減)及び未払法人所得税の減少(同11,330百万円減)によるものであり、主な増加要因は、その他の金融負債の増加(同17,967百万円増)によるものであります。

(資本)

当中間連結会計期間末における資本の残高は1,085,468百万円であり、前連結会計年度末に比べて19,550百万円増加しております。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する中間利益計上に伴う利益剰余金の増加(前期末比86,864百万円増)であり、主な減少要因は、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の計上等によるその他の資本の構成要素の減少(同49,031百万円減)によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は79.4%(前連結会計年度末は75.0%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ47,234百万円増加し、546,102百万円となりました。当該増加には資金に係る為替変動による減少の影響△3,948百万円及び連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額315百万円が含まれております。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は37,512百万円(前年同期は88,059百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税引前中間利益115,798百万円及び営業債権及びその他の債権の減少額20,152百万円によるものであり、主な減少要因は、法人所得税の支払額49,712百万円及びその他の流動負債の減少額19,073百万円によるものであります。

前年同期と比べて、その他の流動負債が減少したことにより、営業活動による収入が減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は59,348百万円(前年同期は49,734百万円の収入)となりました。主な収入要因は、有価証券の売却及び償還による収入50,235百万円及び定期預金の純減少額37,921百万円であり、主な支出要因は、無形資産の取得による支出18,224百万円によるものであります。

前年同期と比べて、有価証券の売却及び償還による収入が増加したことにより、投資活動による収入が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は45,993百万円(前年同期は70,845百万円の支出)となりました。主な支出要因は、自己株式の取得による支出27,070百万円及び配当金の支払額22,962百万円によるものであります。

前年同期と比べて、自己株式の取得による支出が減少したことにより、財務活動による支出が減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されることから、通期の連結業績予想を算出することが困難であり、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するために、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「2026年12月期第3四半期(累計)の連結業績予想」は2026年12月期第2四半期(中間期)の実績値に第3四半期連結会計期間の連結業績予想を加算したものとなっております。2026年12月期第3四半期連結会計期間の業績予想については、下表をご参照ください。

当社グループにおける2026年12月期第3四半期連結累計期間の連結業績予想は、売上収益394,042～406,746百万円(前年同期比12.1%～15.7%増)、営業利益112,052～121,716百万円(同4.1%減～4.2%増)、税引前利益141,483～151,148百万円(同16.0%～23.9%増)、四半期利益103,728～111,145百万円(同29.8%～39.1%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益105,088～112,505百万円(同29.4%～38.6%増)、基本的1株当たり四半期利益133.58～143.00円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国をはじめとして、世界中で事業を運営しております。第3四半期連結会計期間の取引における主要な為替レートは1ドル＝162.60円、100ウォン＝10.89円、1中国元＝23.94円と想定しています。一般に韓国ウォンも中国人民元も米国ドルと連動して為替は推移します。このことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円為替が変動した場合、第3四半期連結会計期間は売上収益が約778百万円、営業利益が約191百万円変動するものと当社では推定しております。

第3四半期連結会計期間の売上収益は、メイプルストーリーフランチाइズの持続的な成長や、前年10月にグローバルでリリースした『ARC Raiders』及びサービス地域を拡大した『マビノギモバイル』(MABINO GI MOBILE)を含む新作の貢献を見込んでおります。その結果、第3四半期連結会計期間の当社グループ全体の売上収益は、前年同期比で成長することを予想しております。フランチाइズ別の予想は以下のとおりです。

メイプルストーリーフランチाइズは、フランチाइズ全体の売上収益が前年同期比で成長することを予想しております。韓国の『メイプルストーリー』(MapleStory)においては、6月に実施した夏季アップデートに関連した追加コンテンツの投入により、前年同期比で約3倍の成長を遂げた前年の第3四半期連結会計期間とほぼ同水準となることを見込んでおります。グローバル版『メイプルストーリー』(MapleStory)においては、欧米市場向けにハイパーローカライズされた夏季アップデートにより、前年同期比で二桁台での成長を見込んでおります。『MapleStory Worlds』は引き続き好調を維持し、前年同期比で約2倍の成長を見込んでおります。また、前年11月にサービスを開始した『MapleStory: Idle RPG』についても、引き続き増収に寄与すると見込んでおりますが、前四半期比では減収となることを見込んでおります。

アラド戦記フランチाइズにおいては、前年同期比でフランチाइズ全体の売上収益が減少すると予想しております。中国のPC版『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)では、7月に実施した夏季アップデートの初動効果が好調であったものの、その後は緩やかに推移しております。しかしながら、9月の国慶節アップデートおよび新レイドコンテンツの投入により、第3四半期連結会計期間における売上収益は、現地通貨ベースで前年同期比およそ横ばいを見込んでおります。一方で、為替の影響がプラスに寄与することから会計基準ベースでは、前年同期比で増収となる見込みです。韓国においては、8月の周年アップデート及び新レイドコンテンツを通じてプレイヤーの定着率の向上や休眠ユーザーの再獲得を優先する方針のもと、前年同期比で減収を見込んでおります。『アラド戦記モバイル』(Dungeon&Fighter Mobile)においては、複数のコンテンツアップデート及び中国の国慶節に合わせた新レイドを実装する予定ですが、前年同期比で減収となることを見込んでおります。

FCフランチाइズにおいては、主に『EA SPORTS FC™ ONLINE』で6月に実施したシーズン最優秀チーム「Team of the Season」アップデートによりフランチाइズ全体の売上収益は前四半期比で増加することを見込む一方で、前年同期比では微減することを見込んでおります。

その他の主要タイトルにおいては、『マビノギモバイル』(MABINO GI MOBILE)が、前年同期比では減収となることを予想しているものの、7月にサービスを開始した台湾、香港、マカオでの堅調な立ち上がりは業績に貢献することを見込んでおります。また、前年10月にローンチした『ARC Raiders』については、売り切り型ゲームの特性として、売上が発売初期に集中することから第3四半期連結会計期間においては平常化を予想するものの、引き続き増収寄与することを見込んでおります。

第3四半期連結会計期間における費用面では、関連タイトルの売上収益の増加に伴い、プラットフォーム利用料や

ロイヤリティ等の変動費が増加することを見込んでおります。また、『MapleStory: Idle RPG』の成果報酬型マーケティングおよび新作タイトルのプロモーション等により広告宣伝費が前年同期比で増加することを見込んでおります。加えて、ソフトウェアサービス費用及びクラウドサービス費用の増加により、その他費用も前年同期比で増加することを見込んでおります。人件費については前年同期比で増加することを見込んでおります。その結果、第3四半期連結会計期間の費用は前年同期比で増加することを見込んでおります。

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいるため、実績値は業況の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

2026年12月期第3四半期の連結業績予想(2026年7月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第3四半期	120,732	1.7	22,605	△39.8	25,685	△52.8	17,422	△53.8	18,223	△52.3	23.35
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	133,436	12.4	32,269	△14.0	35,349	△35.0	24,839	△34.2	25,640	△32.8	32.86

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	498,868	546,102
営業債権及びその他の債権	86,295	65,630
その他の預金	342,239	295,871
その他の金融資産	44,995	41,157
その他の流動資産	19,449	17,293
流動資産合計	991,846	966,053
非流動資産		
有形固定資産	32,928	32,118
のれん	49,945	47,062
無形資産	36,705	39,600
使用権資産	46,735	43,371
持分法で会計処理されている投資	63,740	68,541
その他の金融資産	145,883	110,539
その他の非流動資産	3,633	3,141
繰延税金資産	38,773	45,970
非流動資産合計	418,342	390,342
資産合計	1,410,188	1,356,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	42,253	30,928
繰延収益	55,437	31,555
未払法人所得税	46,192	34,862
リース負債	20,830	20,101
その他の金融負債	3,073	21,316
引当金	18,417	8,735
その他の流動負債	37,093	17,747
流動負債合計	223,295	165,244
非流動負債		
繰延収益	15,783	25,236
リース負債	31,315	29,247
その他の金融負債	286	10
引当金	630	645
その他の非流動負債	12,148	12,056
繰延税金負債	60,813	38,489
非流動負債合計	120,975	105,683
負債合計	344,270	270,927
資本		
資本金	58,191	62,797
資本剰余金	36,645	41,163
自己株式	△93,820	△20,338
その他の資本の構成要素	191,317	142,286
利益剰余金	865,211	850,904
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,057,544	1,076,812
非支配持分	8,374	8,656
資本合計	1,065,918	1,085,468
負債及び資本合計	1,410,188	1,356,395

(2) 要約中間連結損益計算書

【中間連結会計期間】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	232,784	273,310
売上原価	△86,469	△99,118
売上総利益	146,315	174,192
販売費及び一般管理費	△68,338	△82,613
その他の収益	1,702	1,521
その他の費用	△370	△3,653
営業利益	79,309	89,447
金融収益	14,032	29,288
金融費用	△22,945	△1,367
持分法による投資損失	△372	△1,570
持分法による投資の減損損失	△2,479	—
税引前中間利益	67,545	115,798
法人所得税費用	△25,339	△29,492
中間利益	42,206	86,306
中間利益の帰属		
親会社の所有者	43,030	86,864
非支配持分	△824	△558
中間利益	42,206	86,306
1 株当たり中間利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり中間利益	53.04円	109.96円
希薄化後1株当たり中間利益	52.93円	109.67円

【第2四半期連結会計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上収益	118,850	121,076
売上原価	△47,225	△48,986
売上総利益	71,625	72,090
販売費及び一般管理費	△35,173	△39,624
その他の収益	1,452	1,099
その他の費用	△206	△2,281
営業利益	37,698	31,284
金融収益	9,110	11,511
金融費用	△18,257	△2,345
持分法による投資利益	1,128	118
持分法による投資の減損損失	△835	—
税引前四半期利益	28,844	40,568
法人所得税費用	△12,961	△10,636
四半期利益	15,883	29,932
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	16,758	29,639
非支配持分	△875	293
四半期利益	15,883	29,932
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	20.82円	37.56円
希薄化後1株当たり四半期利益	20.77円	37.48円

(3) 要約中間連結包括利益計算書

【中間連結会計期間】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間利益	42,206	86,306
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	70,542	△1,074
確定給付型年金制度の再測定額	1	4
無形資産再評価益	1,198	△7,156
持分法によるその他の包括利益	2,319	8,404
法人所得税	△19,011	1,989
純損益に振替えられることのない 項目合計	55,049	2,167
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	△10,568	△24,865
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	△10,568	△24,865
その他の包括利益合計	44,481	△22,698
中間包括利益	86,687	63,608
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	87,661	64,499
非支配持分	△974	△891
中間包括利益	86,687	63,608

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	15,883	29,932
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	36,855	△2,072
確定給付型年金制度の再測定額	△5	—
無形資産再評価益	5,165	△2,608
持分法によるその他の包括利益	△98	△66
法人所得税	△10,947	1,178
純損益に振替えられることのない 項目合計	30,970	△3,568
純損益にその後に振替えられる可能性の ある項目		
在外営業活動体の換算差額	31,827	7,358
純損益にその後に振替えられる可能性 のある項目合計	31,827	7,358
その他の包括利益合計	62,797	3,790
四半期包括利益	78,680	33,722
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	79,071	33,429
非支配持分	△391	293
四半期包括利益	78,680	33,722

(4) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	合計		
資本(期首)	50,797	30,079	△49,158	207,098	780,197	1,019,013	11,512	1,030,525
中間利益	—	—	—	—	43,030	43,030	△824	42,206
その他の包括利益	—	—	—	44,631	—	44,631	△150	44,481
中間包括利益合計	—	—	—	44,631	43,030	87,661	△974	86,687
新株の発行	1,272	1,272	—	—	—	2,544	—	2,544
新株発行費用	—	△6	—	—	—	△6	—	△6
配当金	—	—	—	—	△12,382	△12,382	—	△12,382
株式に基づく報酬取引	—	—	—	△390	—	△390	—	△390
新株予約権の失効	—	—	—	△21	13	△8	8	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△242	—	—	—	△242	△297	△539
自己株式の取得	—	△31	△56,157	—	—	△56,188	—	△56,188
自己株式の処分	—	△1	1,792	—	—	1,791	—	1,791
自己株式の消却	—	—	50,000	—	△50,000	—	—	—
所有者との取引額等合計	1,272	992	△4,365	△411	△62,369	△64,881	△289	△65,170
資本(期末)	52,069	31,071	△53,523	251,318	760,858	1,041,793	10,249	1,052,042

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	利益 剰余金	合計		
資本(期首)	58,191	36,645	△93,820	191,317	865,211	1,057,544	8,374	1,065,918
中間利益	—	—	—	—	86,864	86,864	△558	86,306
その他の包括利益	—	—	—	△22,365	—	△22,365	△333	△22,698
中間包括利益合計	—	—	—	△22,365	86,864	64,499	△891	63,608
新株の発行	4,606	4,606	—	—	—	9,212	—	9,212
新株発行費用	—	△39	—	—	—	△39	—	△39
配当金	—	—	—	—	△23,787	△23,787	—	△23,787
株式に基づく報酬取引	—	—	—	△4,551	—	△4,551	—	△4,551
新株予約権の失効	—	—	—	△281	274	△7	7	—
子会社取得に係る非支配 持分	—	—	—	—	—	—	1,541	1,541
支配継続子会社に対する 持分変動	—	△34	—	—	—	△34	△375	△409
自己株式の取得	—	△8	△27,062	—	—	△27,070	—	△27,070
自己株式の処分	—	320	725	—	—	1,045	—	1,045
自己株式の消却	—	△327	99,819	—	△99,492	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	△21,834	21,834	—	—	—
所有者との取引額等合計	4,606	4,518	73,482	△26,666	△101,171	△45,231	1,173	△44,058
資本(期末)	62,797	41,163	△20,338	142,286	850,904	1,076,812	8,656	1,085,468

(5) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	67,545	115,798
減価償却費及び償却費	5,542	6,538
株式報酬費用	3,717	△1,785
受取利息及び受取配当金	△11,860	△10,992
支払利息	1,038	1,048
減損損失	239	2,279
持分法による投資損益(△は益)	372	1,570
持分法による投資の減損損失	2,479	—
持分法で会計処理されている投資の売却損益(△は益)	41	—
有価証券評価損益(△は益)	△1,158	△5,290
有価証券売却及び償還損益(△は益)	△803	139
為替差損益(△は益)	13,200	△8,675
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	23,865	20,152
その他の流動資産の増減額(△は増加)	344	2,486
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	8,776	△4,176
繰延収益の増減額(△は減少)	1,383	△12,987
引当金の増減額(△は減少)	△14,101	△9,196
その他の流動負債の増減額(△は減少)	4,596	△19,073
損失評価引当金の増減額(△は減少)	18	4
その他	△2,565	△291
小計	102,668	77,549
利息の受取額	9,120	10,360
配当金の受取額	2,757	348
利息の支払額	△1,029	△1,033
法人所得税の支払額	△25,457	△49,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,059	37,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
拘束性預金の純増減額(△は増加)	△830	1,278
定期預金の純増減額(△は増加)	60,648	37,921
有形固定資産の取得による支出	△2,317	△2,472
有形固定資産の売却による収入	22	99
無形資産の取得による支出	△818	△18,224
長期前払費用の増加を伴う支出	△2,443	△477
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の取得による支出	△7,275	△9,658
連結子会社である投資ファンドを通じた有価証券の売却による収入	12,824	10,211
有価証券の取得による支出	△2,384	△7,213
有価証券の売却及び償還による収入	1,038	50,235
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△8,319	△4,615
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	13	—
短期貸付金の貸付による支出	△41	—
短期貸付金の回収による収入	—	1,913
長期貸付金の貸付による支出	△954	—
長期貸付金の回収による収入	6	6
その他	564	344
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,734	59,348

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストック・オプションの行使による収入	823	6,371
自己株式の取得による支出	△56,188	△27,070
子会社の自己株式の取得による支出	△538	—
配当金の支払額	△12,382	△22,962
リース負債の返済による支出	△2,568	△2,969
その他	8	637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,845	△45,993
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66,948	50,867
現金及び現金同等物の期首残高	331,931	498,868
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△12,513	△3,948
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	315
現金及び現金同等物の中間期末残高	386,366	546,102

(6) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループが本要約中間連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、特段の記載がない限り、以下の新たに適用する基準を除いて、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

当社グループは、当中間連結会計期間より以下の基準を適用しております。これらについては、当中間連結会計期間において重要な影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IFRS第9号 IFRS第7号	金融商品 金融商品:開示	・ESG連動要素を含んだ金融資産の分類の明確化及び電子送金システムを通じての金融商品の決済において認識の中止が行われる日の明確化
IFRS第9号 IFRS第7号	金融商品 金融商品:開示	・自然依存電力の契約を企業がより適切に報告するのに役立てるための的を絞った修正

(セグメント情報の注記)

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取扱う商品・サービスについて国内においては当社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を基礎とした各社の所在地別の事業セグメントから構成されております。なお、当社グループは、所在地ごとの各子会社における事業の特性などから、為替の変動が業績に与える影響が類似しており、かつその影響の業績に占める割合も大きいことから、各社の所在地別に事業セグメントを集約することで、報告セグメントを作成しております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」、「欧州」及び「その他」の6つとしており、「その他」の区分にはアジア諸国が含まれております。

また、当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。これにより、当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、PCオンライン、モバイル及びその他に収益を分解表示しております。

(報告セグメント区分の変更)

従来「その他」に含まれておりました「欧州」については、重要性が増したことから、当中間連結会計期間より報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、当該変更後の区分方法に基づき組み替えて表示しております。

② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりです。

(中間連結会計期間)

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

	報告セグメント						計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	欧州	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益									
外部収益									
PCオンライン	2,293	144,041	815	10,907	2,825	290	161,171	—	161,171
モバイル	386	67,246	—	3,074	—	—	70,706	—	70,706
その他	0	798	—	97	12	—	907	—	907
外部収益 計	2,679	212,085	815	14,078	2,837	290	232,784	—	232,784
セグメント間収益	488	5,497	—	882	—	1,464	8,331	△8,331	—
計	3,167	217,582	815	14,960	2,837	1,754	241,115	△8,331	232,784
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,844	83,746	△112	1,144	△3,537	△1,419	77,978	△1	77,977
その他の収益・費用 (純額)									1,332
営業利益									79,309
金融収益・費用(純額) (注5)									△8,913
持分法による投資損失									△372
持分法による投資の減損 損失									△2,479
税引前中間利益									67,545

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融費用の主な内訳は、為替差損21,626百万円です。

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

	報告セグメント						計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	欧州	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益									
外部収益									
PCオンライン	2,318	122,405	1,070	16,046	60,497	447	202,783	—	202,783
モバイル	—	62,127	—	6,119	—	—	68,246	—	68,246
その他	6	2,032	—	205	38	0	2,281	—	2,281
外部収益 計	2,324	186,564	1,070	22,370	60,535	447	273,310	—	273,310
セグメント間収益	494	17,541	—	820	102	1,946	20,903	△20,903	—
計	2,818	204,105	1,070	23,190	60,637	2,393	294,213	△20,903	273,310
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,738	57,346	183	5,060	31,069	△601	91,319	260	91,579
その他の収益・費用 (純額)									△2,132
営業利益									89,447
金融収益・費用(純額) (注5)									27,921
持分法による投資損失									△1,570
税引前中間利益									115,798

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額260百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融収益の主な内訳は、受取利息及び受取配当金10,992百万円及び為替差益12,797百万円です。

(第2四半期連結会計期間)

前第2四半期連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

	報告セグメント						計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	欧州	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益									
外部収益									
PCオンライン	966	74,675	378	6,306	1,561	97	83,983	—	83,983
モバイル	128	31,911	—	2,329	—	—	34,368	—	34,368
その他	0	399	—	88	12	—	499	—	499
外部収益 計	1,094	106,985	378	8,723	1,573	97	118,850	—	118,850
セグメント間収益	255	2,528	—	527	—	969	4,279	△4,279	—
計	1,349	109,513	378	9,250	1,573	1,066	123,129	△4,279	118,850
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,179	39,344	△126	1,258	△1,645	△1,185	36,467	△15	36,452
その他の収益・費用 (純額)									1,246
営業利益									37,698
金融収益・費用(純額) (注5)									△9,147
持分法による投資利益									1,128
持分法による投資の減損 損失									△835
税引前四半期利益									28,844

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額△15百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融費用の主な内訳は、為替差損17,471百万円です。

当第2四半期連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

	報告セグメント						計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	欧州	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益									
外部収益									
PCオンライン	916	54,468	372	10,334	19,862	217	86,169	—	86,169
モバイル	—	29,131	—	4,447	—	—	33,578	—	33,578
その他	4	1,196	—	117	12	—	1,329	—	1,329
外部収益 計	920	84,795	372	14,898	19,874	217	121,076	—	121,076
セグメント間収益	333	5,871	—	440	48	1,138	7,830	△7,830	—
計	1,253	90,666	372	15,338	19,922	1,355	128,906	△7,830	121,076
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,522	18,776	△144	3,899	11,574	△171	32,412	54	32,466
その他の収益・費用 (純額)									△1,182
営業利益									31,284
金融収益・費用(純額) (注5)									9,166
持分法による投資利益									118
税引前四半期利益									40,568

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
2. セグメント間の内部取引価格は、一般的な市場価格に基づいております。
3. セグメント利益又は損失の調整額54百万円は、セグメント間取引消去です。
4. PCオンライン及びモバイルについては、主に役務に対する支配が一定期間にわたり移転するため、一定の期間にわたり履行義務を充足し収益を認識しております。
5. 金融収益の主な内訳は、受取利息及び受取配当金5,666百万円及び有価証券評価益5,537百万円です。

③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりです。

(中間連結会計期間)

前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	3,607	3,320	25	6,952
韓国	94,765	29,688	805	125,258
中国	36,327	28,105	19	64,451
北米及び欧州	17,047	3,249	17	20,313
その他	9,425	6,344	41	15,810
合計	161,171	70,706	907	232,784

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州

(2) その他：中南米及びアジア諸国

当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	3,512	2,589	12	6,113
韓国	85,118	31,667	1,785	118,570
中国	34,836	15,891	21	50,748
北米及び欧州	61,748	8,021	232	70,001
その他	17,569	10,078	231	27,878
合計	202,783	68,246	2,281	273,310

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州

(2) その他：中南米及びアジア諸国

(第2四半期連結会計期間)

前第2四半期連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	1,582	1,380	21	2,983
韓国	52,624	17,958	424	71,006
中国	16,818	10,039	14	26,871
北米及び欧州	8,216	1,227	14	9,457
その他	4,743	3,764	26	8,533
合計	83,983	34,368	499	118,850

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州

(2) その他：中南米及びアジア諸国

当第2四半期連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

	事業別の売上収益			合計
	PCオンライン	モバイル	その他	
	百万円	百万円	百万円	百万円
主な地域市場				
日本	1,460	1,107	8	2,575
韓国	44,194	15,887	1,008	61,089
中国	11,812	7,531	12	19,355
北米及び欧州	21,326	4,032	178	25,536
その他	7,377	5,021	123	12,521
合計	86,169	33,578	1,329	121,076

(注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米及び欧州：米国、カナダ及び欧州

(2) その他：中南米及びアジア諸国

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2026年8月13日の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。

① 自己株式の消却を行う理由

資本効率の向上及び株主への利益還元のため

② 消却に係る事項の内容

- | | |
|---------------|--|
| (a) 消却の方法 | その他利益剰余金から減額 |
| (b) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (c) 消却する株式の数 | 13,238,900株
(2026年7月31日現在の発行済株式総数の1.7%) |
| (d) 消却予定日 | 2026年8月31日 |